

SANDTEQ Fair (サンドテックフェア)

サンディングマシンを中心としたミニ個展を開催

ホマッグジャパン(株)

ホマッグジャパン(株) (大阪府東大阪市、田辺康宏社長) は2月8日と9日の2日間、大阪府東大阪市の同社大阪本社ショールームにおいて「SANDTEQ Fair (サンドテックフェア)」を開催した。今回はワイドベルトサンダーを中心とした小規模の展示会となっているが、ランニングソーや自動倉庫など大型機械の展示も行われた。

高精度の研磨加工が行える SANDTEQ W・300

今回の展示会のメインとなるワイドベルトサンダー「SANDTEQ W・300」は、生地仕上げ研磨、クロスベルト研磨、塗装面研磨を1



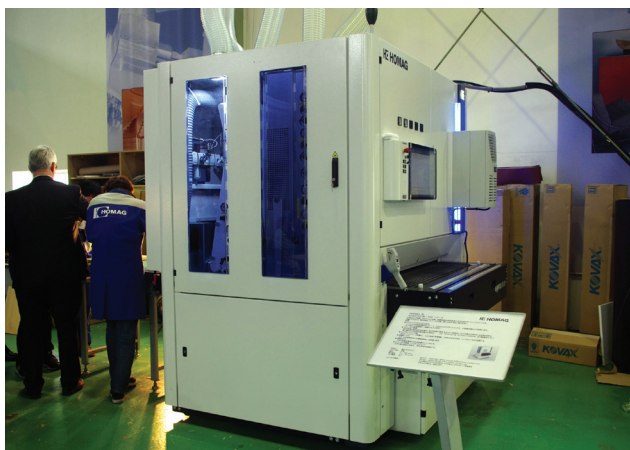
ホマッグジャパン大阪本社

台で行える2ヘッド構成(クロスと長手)のワイドベルトサンダー。12・5mm巾部形状検知センサーと50mm巾圧力可変式マグネットパッドで材料の形状に合わせて圧力調整(5段階)を自動で行うことができるため、エッジ部分の端垂れを抑え、高精度に仕上げる事が可能。また、クロスベルトを装備することで長手研磨で発生するベルト跡や横方向のケバを除去できるほか、国産機では搭載されることが稀なシェブロンベルトによりシレーションマークを除去し、安定した品質の精度を実現している。展示機のヘッドは、厚み規制や仕上げ研磨用など、どんなベルトでも搭載可能なモデルとなっている。そのほかにも小さな部材を確実に固定する吸着テーブル、ベルト交換を素早く行える自動ロック、厚み測定を簡単に行えるワイヤレスキャリアなども標準で装備している。

中小木工業者に最適な

CENTATEQ P・110

会場の入口付近に展示されていたのは、マシニングセンタ「CENTATEQ P・110」。本機は新



ワイドベルトサンダー SANDTEQ W-300



厚み測定を簡単に行うワイヤレスキャリア